

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		商品プロモーション支援				所管	文化産業観光部 産業振興課		
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名	事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標]							
		[小 柱]							
		[施 策]							
	根拠法令等	要綱		[法令等名]	商品プロモーション支援事業助成金交付要綱				
	事業対象	主に製造業の区内中小企業							
	事業目的	製造事業者の販路拡大とデザイナーの区内定着							
	事業内容	区内に事業所を構えるデザイナーに、デザインを依頼して、製品パッケージ、印刷物(チラシ、カタログ)、販促物(バナー、ポスター)の制作を行う製造事業者に対し、デザイン委託費用の一部を助成する。 助成率 デザイナーに支払うデザイン委託費用(印刷費用は除く)の2分の1以内で、15万円を限度							
委託の有無	なし	委託内容							
補助金の有無	都								
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度		
	活動指標	相談件数 件		15	-	11	17		
	成果指標	製造事業者とデザイナーマッチング件数 件		10	-	8	9		
	決算額 (単位：千円)				-	1,192	1,215		
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト(人件費など)			-	801	852		
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			-	0	0		
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			-	1,192	1,215		
		総経費			-	1,993	2,067		
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			-	0	0		
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			-	596	607		
一般財源(区負担額)			-	1,397	1,460				
前年度から改善した事項		ビジネスアドバイザー、専門コーディネーターと連携したPRを行った結果、利用実績が伸びている。							
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	3	区内には、台東デザイナーズビレッジを中心に、若いデザイナーや、クリエイターが集積しつつある。この集積が進みつつある若いデザイナーを活用していく機運は、区内の製造事業者の間でも少しずつであるが高まってきている。						
	効率性	3	都の助成金「創造的都市型産業創出助成事業」の対象となったため、24年度から26年度までの3年間は、事業費の負担の軽減を図りながら、製造事業者とデザイナーのコラボレーションを推進していくことができる。						
	手段の適切性	3	本区の産業集積の特性を活かし、区内産業の活性化を図るものであり、区だからこそできる事業である。						
	目的達成度	3	25年度は、本制度についての相談が増え、実績も若干増えている。						
[評価の理由](区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		
産業振興プランにもとづき、24年度から始まった事業であり、本区に集積が進みつつある、クリエイターの力の活用の促進を図るものである。今後の需要も見込まれるため、維持とする。						維持			